

Yodogawa Syu-Un Watching Map

淀川舟運ウォッチングマップ

船から見る淀川再発見



■編集・発行
【琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会】
近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿農政局、近畿中国森林管理局、近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、大津市、内閣官房都市再生本部事務所（オブザーバー）
[事務局]
国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課内
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44
TEL:06-6942-1141 (大代表) FAX:06-6942-7463
琵琶湖・淀川流域圏の再生ホームページアドレス
http://www.kkr.milt.go.jp/plan/biwayodosaisei/
■編集・協力
【淀川舟運整備推進協議会】

※船上から菅原城北大橋を望む。

琵琶湖・淀川流域圏の再生

2007.10

三川合流点域～鳥飼仁和寺大橋

★は、船上から確認できます。

水利用

1 磯島取水口 枚方市



ここで取水された水は磯島取水場から中宮浄水場へ送水されます。上流側には大阪府の取水口があります。



7 くらわんか舟発祥の地



当時淀川を往来する船に向かって酒や餅を売っていた小舟を「くらわんか舟」といいます。「餅くらわんか、酒のまんかい」と乱暴な言葉で三十石船の船客に商売を行いました。

構造物

1 枚方大橋 昭和42年完成 合成桁



大阪府内の淀川では最上流部にあります。次に上流にある京都府八幡市の御幸橋までは約11km離れています。

2 枚方水管橋 昭和40年完成 ランガー補剛形式



大阪府営水道村野浄水場から北摂地域へ水道水を送る管(直径1.2m×2連)を渡すための橋です。

3 淀川新橋 昭和56年完成 合成桁



橋の形式として最も一般的な桁橋の構造をしています。

4 鳥飼仁和寺大橋 昭和62年完成 斜張橋



大阪府道路公社が管理している一般有料道路です。

「ワンド」とは淀川本流とつながっているか、水が増えたときにつながってしまうような場所をいいます。ワンドのコトバの語源ははっきりしていませんが、「入り江」や「川の淀み」「淵」のことをワンドと読んでいた地方があることから、淀川でもワンドと呼ぶようになりました。そしてこのワンドは「淀川らしさ」の象徴ともなっています。ワンドは、様々な生き物のすみかとなっています。たとえば天然記念物のイタセンバラは、淀川ではこのワンド周辺で見ることができません。ワンドはまさに貴重な生き物たちのすみかなのです。(淀川河川事務所HPより抜粋)

「船着場」 国土交通省では、淀川本流において、災害時の物資輸送などのための緊急用船着場を整備しています。現在9ヶ所(左岸5、右岸4)の整備が完了しています。(淀川の舟運再生と水辺の賑わい創出構想より抜粋)



カヌーに乗った人もいますよ



- 凡例
- 史跡
 - 取水口
 - 距離標 (河口からの距離(km))
 - 樋門
 - 船着場
 - 浄水場

この地図は国土地理院発行の数値地図 25000(京都及大阪)を使用したものである。

歴史・文化・自然

1 樟葉ワンド



2 鶴殿のヨシ原



3 鍵屋資料館



鍵屋(かぎや)は、伏見と大坂を結ぶ三十石船の船宿として江戸時代に栄え、近年まで料亭を営んでいました。広い間口には、摺り上げ戸など、街道の旅人を招き入れる工夫がなされていました。また、市の指定文化財であり、貴重な歴史的建造物です。

4 郵便屋渡し跡



明治10年、淀川の右岸に鉄道が開通したのをうけて、淀川左岸枚方側からの郵便物を対岸の国鉄高槻駅に届けるために設けられた渡しです。

5 出口のスーパー堤防



淀川の出口地区は昭和63年に日本で初めてつくられた高規格堤防(スーパー堤防)の発祥の地です。

6 三島江の渡し跡



江戸時代は渡し場として活気があり、大坂商人が三島江に渡り、能勢妙見山などに参拝に向かいました。堤防下に妙見灯籠が残っています。

8 点野ワンド



9 鳥飼の渡し跡



江戸時代、このあたりには多くの渡しがありました。そのうち、鳥飼(とりかい)渡しといえば、下の渡しのことを指すことが多いといわれています。昭和22年に木造の橋が完成し、一津屋渡しなどは廃止されましたが、下の渡しのみ昭和50年まで地元の足となっていました。

10 佐太の渡し跡



佐太(さた)は枚方宿と守口宿の中間地点に位置しており、江戸時代には間宿として栄え、菅原道真ゆかりの佐太神社前の天神浜は佐太の渡し場であり、年貢米の積み出し場となっていました。

11 鳥飼ワンド



鳥飼大橋～八軒家

★は、船上から確認できます。

3 平田の渡し跡



大阪市旭区豊里町から対岸の東淀川区豊里町までの間を渡し船が結んでいました。昭和45年、豊里大橋が開通して廃止されるまで約300年続きました。

4 城北ワンド群



5 大阪市水道発祥之地



明治28年11月大阪市最初の上水道が桜之宮から送水されました。それまで市民の飲料水は淀川の川水か井戸水に頼っていました。

6 毛馬桜之宮公園



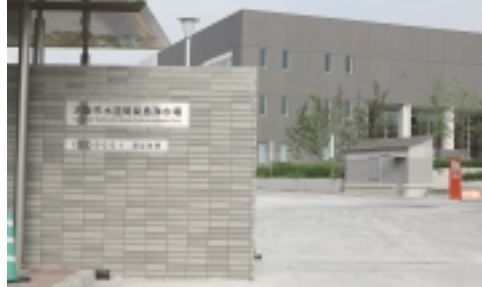
江戸時代から桜の名所として知られ、その美しさは大阪随一とされ、多くの花見客でにぎわいました。大正12年に市民公園として整備され、大阪でも古い歴史を持つ公園です。(毛馬(けま)橋から天満(てんま)橋までの大川兩岸)

7 八軒家



江戸時代に大阪の八軒家(はちけんや)浜と伏見港との間を三十石船が運行していました。天神橋の南詰めにあって、旅館が八軒あったことから八軒家と呼ばれました。

6 柴島浄水場



明治41年～大正3年の6年をかけて東洋といわれた「柴島水源地」が完成しました。現在はより安全で良質な水にするために「高度浄水処理」を実施しています。

7 水道記念館



ネオルネッサンス様式の赤煉瓦と御影石との調和が美しい建物で、館内では水道100年の歴史、暮らしと水道、琵琶湖・淀川水系の淡水魚の水族館などがあります。

8 城北川



寝屋川と旧淀川(大川)を結ぶ人工の水路です。上流に大阪市建設局城北抽水所と大阪市水道局毛馬取水場(工業用水)があります。

歴史・文化・自然

1 宮ノ下渡船場跡



宮ノ下渡船場は永禄元年頃から河地と攝津の約600mを結ぶ水路として鳥飼とともに重要な渡船場でした。鳥飼大橋の完成によって姿を消すまで、約400年の間渡し舟が活躍していました。

2 庭窪ワンド群



5 柴島取水口



ここで取水した水は柴島浄水場へ送水されています。

2 庭窪浄水場



府営水道で最も歴史のある浄水場です。体験して楽しんで学べる水道見学施設があります。



カワウなどがいっぱい!!

飛行機も飛んでいるよ

ボタンウキサ 外菜種であるボタンウキサ(ウォーターレタス)が大繁栄!!

水利用

1 大庭浄水場



府営水道の工業用水の浄水場です。

13 川崎橋



この橋は人と自転車専用の橋です。元禄の頃は「川崎の渡し」という渡し舟がありましたが、昭和20年に無くなり、昭和53年に今の橋が架けられました。

14 天満橋



昭和10年に現在の鋼桁橋に架け替えられました。さらにその後交通量の増大に伴って、橋の上に高架橋の「新天満(てんま)橋」が架けられ二重橋となっています。

9 飛翔橋



大川右岸の北区淀川リバーサイドタウンから都島区の地下鉄都島駅に連絡する歩行者専用の橋です。

10 都島橋



大阪市最初の「桜之宮浄水場」があったところで、大阪市水道発祥之地の碑が立っています。

11 源八橋



この辺りにはかつて源八(げんぱち)渡しがあり、与謝蕪村も俳句を読んでいます。

12 桜宮橋



銀色に塗装された橋で、戦前は日本最大のアーチ橋でした。老朽化のため、北側に新銀橋が完成し、橋は補修のため閉鎖されました。

5 淀川水管橋



淀川には様々な橋が架かっています。水管橋とは水道管を渡すための橋です。

6 淀川大堰



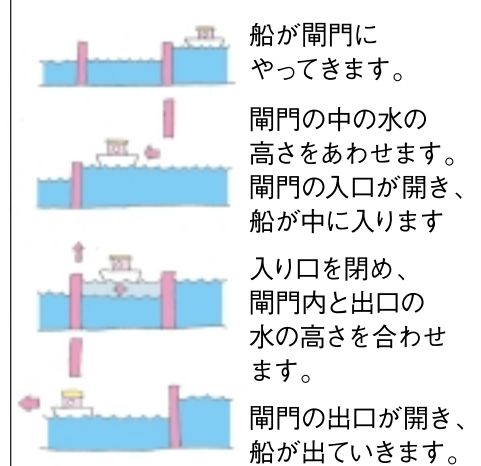
淀川大堰は必要な水を使えるように水の高さを調節したり、海の水が流れ込まないようにする施設です。

7 毛馬閘門



淀川～大川間の水位を調節し舟の運行を可能にすることを目的にしています。毛馬水門の隣に位置し、船が入って出て行くまで約30分で水位を調節できます。

毛馬閘門のしくみ



8 毛馬橋



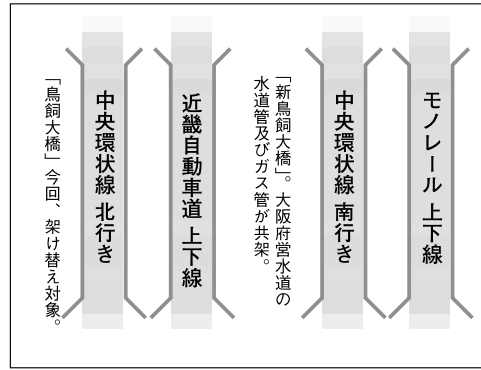
昔は毛馬の渡しがありました。大川に入って最初に出会う橋で、毛馬橋の親柱は馬の鞍をイメージしたのになっています。

構造物

1 鳥飼大橋



鳥飼大橋は、新しく昭和29年ゲルバートラ形式の鋼橋となり、一時は有料でしたが、昭和39年からは無料となりました。その後、上流側に鋼箱桁橋が昭和41年に架設され、昭和48年には近畿自動車橋梁が完成し、中国自動車道と接続されました。ここにはこのほかに以下のような橋が集まっています。



2 豊里大橋



形式は大阪市では初めての本格的な斜張橋で、中央スパン215mは当時日本最長でした。

3 菅原城北大橋



大阪で最初に有料道路事業を取り入れて建設された橋で、普通車の通行料が100円であることから、「100円橋」と呼ばれています。

4 赤川鉄橋



戦前から残されているトラス型の橋で列車と人が一緒に渡るめずらしい鉄橋です。近くに線路が複線化され、人道橋は廃止されます。